

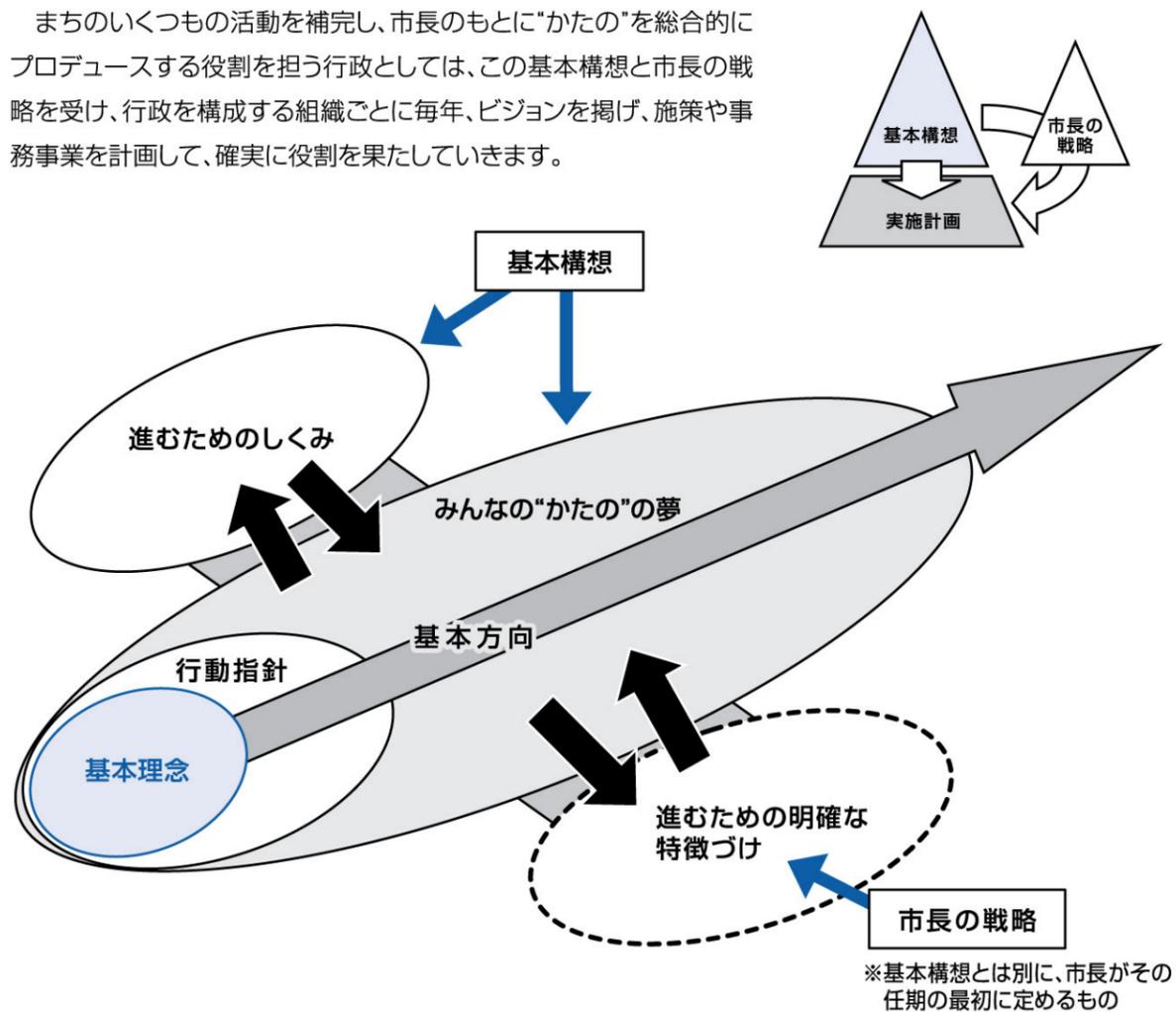
基本構想の構成

この基本構想は、“かたの”の基本的なものさしとなる【基本理念、行動指針】、ありたい姿や向かう方向を示す【基本方向、みんなの“かたの”の夢】、そして、具体的な計画へと導く【“かたの”のしくみ】から構成しています。

基本構想では、具体的な取り組みを進めるための詳細なことは定めていません。どのようなことをするのか、どのようにしていくのかといった、施策やプロセスなどは、その実行を担う人などによって、それぞれの体力、能力に応じて、この基本構想のもとに対話が行われ、アイデアを出し合っって計画などを定め、実行していくこととなります。

この基本構想を実現する上での、まちとして進んでいく重点的、特徴的な取り組みについては、選挙により交野の代表者として選出される市長が【市長の戦略】として、その任期の最初に別途定めるものです。

まちのいくつもの活動を補完し、市長のもとに“かたの”を総合的にプロデュースする役割を担う行政としては、この基本構想と市長の戦略を受け、行政を構成する組織ごとに毎年、ビジョンを掲げ、施策や事務事業を計画して、確実に役割を果たしていきます。



基本構想の期間

この基本構想の期間は、2011(平成23)年度～2022(平成34)年度の12年間とします。市民の暮らしの夢や、社会経済状況の変化、その他この構想の内容が環境変化に対応できなくなったときは、この構想策定作業に準じた手順により見直します。

この期間中、4年ごとに3つのステージに分けて、大きく進行を見つめていきます。各ステージの終わりには、成果を見つめなおし、学び合っって、みんなで成長の様子を確かめます。そして次なるステージへと進みます。

